

# 感謝の気持ちを大切にす学年

～ いいとこ伸ばして いいとこいかして ～

## 外に出たから、わかること

「待ちに待った」

「やっと、やっとこの日が来ました。」

「最初で最後の校外学習です。」

前に出て話をする実行委員は、いろいろな表現をしてくれました。どの言葉も学年の思いを代弁しています。入学したときから、コロナウイルスに翻弄されてきた私たちは、今回の修学旅行で「やっと」「校外学習」をすることができました。

だから行く前には、そこに行かなければ分からないことを学んで来ようという話をしていました。具体的には「五感」をしっかり使って学んで来ようと。今日、班で1枚まとめの新聞を作成していますが、この「五感」を切り口にそれぞれが記事を書いています。来校された際に、是非御覧になってください。

また、私たち教員にとっても、学年集団を客観的に見る良い機会になりました。

成果は、指示が良く通り、時間を守れる集団に育っていたこと。

解散式でも申しましたが、どの活動も時間に遅れることがありませんでした。

見事だったのは、火山博物館見学の後のこと。博物館にいる間は、小雨が降っていたので、草千里の散策は諦めるしかないと思っていました。しかし、ガイドさんの説明が終わってみると、雨は上がっているではありませんか！急遽30分、散策の時間を取することにしました。30分しかないのに、遠くに見える馬の所まで、草原を走る集団が多数。「間に合うのか」と、はらはらしましたが、なんと集合時には全員戻ってきました。「先生、馬の尻の筋肉、やべえ～っす。」「足が意外に太かった！！」「糞を避けながら、走るの大変だった。」などなど口々に報告しながら、バスに戻っていく姿は、かわいくて、かわいくて。

また、行く先々でお世話になった方々に、「落ち着いている生徒さんが多いです。」とか、「大人っぽい生徒さんたちですね。」「感じがいいですね。」などの評価をいただきました。全国各地の修学旅行生を見て来られた方たちの評価は、自信になります。これまで行ってきたこと、指導してきたことは、間違っていなかったのだと思えました。

しかし、課題も見つっています。それは、規範意識の低さです。不要物を持って来ていたり、指定していない時間に買物をしたり、お菓子を食べたり…。ちょっとくらいいいだろう、見つからなければいいだろうという魂胆が見え隠れします。そして、我慢ができない。残念です。

中学校生活も残り、5ヶ月となりました。今回見つかった課題も含めて、そして希望する進路の実現に向けて、今後も私たちのできる限りで、支援や指導を続けていきます。保護者の皆様のご協力も引き続き、よろしく願います。



### 初めての殻付きエビ

1日目の昼食で、殻付きエビが出ました。食べる様子を見て回っていると、「先生、これどうやって食べるんですか？」「え、頭取って、殻むいて食べるんよ。」「どうやって？」「えっ？」

むきかたを教えるのは、なかなか難しゅうございました。人生初めての殻付きエビは、修学旅行で、と言う人もいたようです。